

社会福祉法人明照保育園 幼保連携型認定こども園 明照保育園 全体的な計画

事業の目的		全ての子どもに認定こども園法に基づいて、乳児及び幼児の教育及び保育事業を行うこと					し態地だに域事対の業心実	かつての農漁村から宅地化が進む中、共働きの家庭が多く、祖父母が同居または近くに住む家庭も多いものの、祖父母の多くも仕事を持っており、育児の伝承機能や地域総合扶助力が低下している。その為地域のニーズにより、時間延長保育・障害児保育・子育て支援事業・地域交流事業の他、学童保育（明照児童クラブ）も行っている。		
保育理念（事業運営方針）		「豊かな体験・遊びを通じ、情緒豊かで自立した子どもを育てる」の保育・教育理念に基づき子どもの人権や主体性、個性を尊重し、1人1人の最善の幸福の為に保護者や地域社会と協力し、児童の福祉を増進する。あわせて地域社会における家庭援助を積極的に行うことで、充実した子育て社会を実現する公的施設として、社会的責任を果たしていくことに努める。						社会的責任	〔認定こども園の役割〕 教育及び福祉施設として子育て家庭や地域に対しこども園としての役割を確実に果たす。 〔人権尊重〕 職員は、保育の営みが子どもの人権を守る為に法的・制度的に裏付けられていることを認識する。 〔説明責任〕 保護者や地域社会と連携・交流を図り、一方的な説明でなく分かりやすく応答的な説明をする。 〔情報保護〕 保育に当たり知り得た子どもや保護者に関する情報は、正当な理由無く漏らしてはならない。 〔苦情処理・解決〕 苦情解決責任者である園長の下に苦情解決担当者を決め、書面における体制を整備する。また第三者委員を設置する。	
保育方針		<ul style="list-style-type: none"> ・保育に関わる専門職同士がそれぞれの専門性を発揮しながら協力し、養護と教育の一体的な展開を図り、保育の内容の質を高め、充実させる。 ・子どもの主体的な発達要求に回答する環境を豊かに整え、自ら興味関心を持って環境に関わり、チャレンジしたことへの達成感を味わえるようにし、心情・意欲・態度を養う。 ・子どもの24時間の生活を視野に入れ、家庭との連携を密にして、発達過程に応じた育ちを導けるよう、保護者の共感を得て養育力の向上を支援する。 ・子どもが育つ道筋や生涯教育を見据えた長期的視野を持って、小学校と情報交換をしたり交流を密にしたりして積極的に連携していく。 ・「保育・教育課程」を柱に「年間指導計画」「月週日案」等の計画を立て、実践後に記録・評価を作成し、一人一人の子どもや年齢別に編成されたクラスにおける「計画・実践・検証・改善」のPDCAサイクルを職員全体で共通把握することで、園全体の向上を図る。 					行事主な		入園式・誕生会・健康診断・親子遠足・保育参加と試食会・フリーマーケット・個人懇談会・プール開き・七夕会・年長児宿泊保育・夕涼み会・祖父母のつどい・園内運動会・いもほり・焼きいもパーティー・明照まつり(ハザ-)・七五三宮参り年長児おわかれ遠足・作品展・クリスマス会・もちつき・節分豆まき・遊戯会・卒園児保護者会と三世交代交流会・卒園式	
子どもの理想像		心身ともにたくましく、思いやりのある子ども						発達過程とクラス編成	6年齢別のクラス（幼児6クラス、乳児6クラスの計12クラス）で園生活を送るにあたり、保育指針の8つの発達段階を前提に計画等がなされている。また、1人1人の成長段階をひまえ、養護と教育が一体となり保育が展開される。	
保育時間		*1号認定…平日 8:30～15:30 *2・3号認定…平日 8:00～16:00、土曜日 8:00～12:00 ☆含延長保育…平日 7:30～19:00、土曜日 7:30～12:00					保護者・地域・子育て家庭への支援及び取り組み			
保育目標		0歳児	1歳児	2歳児（満3歳児）	3歳児	4歳児	5歳児	<ul style="list-style-type: none"> ○〔明照げんきっ子ビデオ〕 園生活を学年ごとに映像で知らせる ○〔お知らせくん〕 その日の保育の様子を保護者にメール等で知らせる ○子育て支援活動（園庭開放・年齢別ひろば・育児相談・園行事参加） ○明照児童クラブ（学童保育） ○実習生・職場体験の受け入れ ○子ども食堂「おとなりさん」 ○なかよし保育（小中学生・地域との交流） ○地域行事への参加（七五三、節分） ○高齢者施設等との交流 他 		
（養護）保育教諭が行う事項が	保生命の	・人への基本的信頼感が芽生える ・生理的欲求を満たし、個々の生活リズムを整える	・特定の保育者との信頼関係が更に深まり愛着関係が育まれるように接する	・生活や遊びの中で自我が育つような関わりを持つ ・気候に応じて体調管理をする	・基本的な生活習慣を身につけられるようにする ・運動機能が高まるようにする	・自ら体調の変化に気づく ・運動量が増し活発に活動できるように配慮する	・健康に関心を持ち、生活に必要な習慣を身につけられるようにする			
	安の情緒	・発達過程などを的確に把握し応答的なふれ合いや言葉かけを行う ・依存的欲求を満たす	・スキンシップにより、保育者との関わり心地よさや安心感を得るように接する	・子どもの気持ちを受容し共感しながら継続的な信頼関係を築いていく	・主体的な活動を促す環境を構成し探索意欲が高められるように見守る	・多様な経験を通し自己肯定感を育み、自信や保育士への信頼を獲得できるようにする	・保育園が子どもたちにとって安心・リラックスして生活できる場とする			
教育及び保育（教育・保育要領領域の第2章を鑑み、に沿う）							幼保連携型認定こども園教育・保育要領（①心情②意欲③態度）			
健康	健康	・清潔になる事の心地よさを感じる	・身のまわりの簡単なことを援助してもらいながら自分でしようとする	・生活の中で援助してもらいながら自分でできたことに喜びを感じる	・身のまわりを清潔にし生活に必要な活動を自分でしようとする	・自分の身体に関心を持ち、異常を感じたら自分から保育者等に知らせる	・室内外の危険な物や場所・危険な行動を知り気をつけて活動をする	健康	①明るく伸び伸びと行動し、充実感を味わう。 ②自分の体を十分に動かし、進んで運動しようとする。 ③健康、安全な生活に必要な習慣や態度を身に付ける。	
	関人関係	・特定の保育者との関わりにより信頼関係が生まれる	・保育者や友だちに関心を持ち真似をしたり自ら関わろうとする	・生活や遊びの中で順番を待つなどの決まりがあることを知る	・友だちと簡単なルールのある遊びをする中でルールが守れる	・共同で使う物の貸し借りができるようになり、我慢することを覚える	・遊びや行事を通じ力を合わせる大切さを知り、友だちを思いやる気持ちを持つ	人間関係	①幼保連携型認定こども園の生活を楽しみ、自分の力で行動することの充実感を味わう。 ②身近な人と親しかかわりを深め愛情や信頼感を持つ ③社会生活における望ましい習慣や態度を身に付ける。	
	環境	・安心できる人的及び物的環境の下で感覚の働きを豊かにする	・好きな玩具や遊具に興味を持って積極的に関わり様々な遊びを楽しむ	・身近なもので遊んだりする中で、物への愛着や親しみを保持	・身近な動植物に親しみをもちせ話をすることで生命の尊さに気づく	・身近な物や遊具に興味を持って関わり、考え・試すなど工夫して遊ぶ	・生活や遊びの中で簡単な標識や文字などに関心を持つ	環境	①身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心を持つ。 ②身近な環境に自分からかわり、発見を楽しんだり、考えたり、それを生活に取り入れようとする。 ③身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、ものの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにする	
	言葉	・語りかけられることにより声を出したり応えようとする	・話しかけややり取りの中で声や言葉で気持ちを表そうとする	・絵本などで楽しみながら言葉に親しみ、模倣を楽しんだりする	・話を聞いたり質問したり、興味のある言葉によるイメージを楽しむ	・保育者や友だちとの会話を楽しみ相手に伝わるように話す工夫をする	・人の話を聞いたり身近な文字に触れたりして言葉への興味を広げる	言語	①自分の気持ちを言葉で表現する楽しさを味わう。 ②人の言葉や話などをよく聞き、自分の経験したことや考えたことを話し、伝え合う喜びを味わう。 ③日常生活に必要な言葉が分かるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、保育教諭等や友達と心を通わせる。	
	表現	・土や水などの素材に触れ全身で感触を楽しみ感性を育む	・保育者や友達と一緒に歌や手あそび、リズムに合わせて身体を動かすことを楽しむ	・保育者や友達と遊ぶ中で自分なりのイメージを膨らませ楽しんで遊ぶ	・いろいろな素材や用具に親しみ友だちと工夫して遊ぶ	・友だちと歌ったり踊ったりして1つのものを作り上げる楽しさを味わう	・自分のイメージを動きや言葉などで表現したり演じて遊ぶ楽しさを味わう	表現	①いろいろなもののみしさ等に対する豊かな感性を持つ ②感じたことや考えたことを自分なりに表現して楽しむ ③生活の中でイメージを豊かにし、様々な表現を楽しむ	
	食育	もぐもぐごっくんを楽しむ	食べることを楽しむ	意欲的に食べるようになる	食材に興味を持ち、楽しく食べながらマナーを身につける	友だちと一緒に作ったり食べたりすることの楽しさを知る	食事が健康や成長につながることを意識し、感謝の気持ちを持つ	【幼児期の終わりまでに育つことが望ましい10の姿】	①健康な心と体②自立心③協同性④道徳性・規範意識の芽生え⑤社会生活との関わり⑥思考力の芽生え⑦自然との関わり・生命尊重⑧数量・図形、文字等への関心・感覚⑨言葉による伝え合い⑩豊かな感性と表現	
健康支援		○健康・発育・発達状態の把握 ○登園児及び保育中の心身状態や家庭生活・養育状態の把握 ○便・尿・ぎょう虫等の検査 ○内科・歯科健診 ○保健だより ○食育だより ○異常が認められた時の対応 ○離乳食児・アレルギー児への個別生活支援					特色ある保育	○園バスでの園外保育活動 ○様々な栽培飼育活動 ○文化的活動（年長児の日舞・和太鼓・剣道）○計画的な体育指導 ○たてわり保育やなかよし保育による異年齢児交流 ○食育の一環としての調理員と連携したクッキング活動		
環境・衛生管理		○施設内外の設備・用具等の清掃及び消毒 ○安全管理及び自主点検 ○職員健康診断 ○調理員の検便 ○感染予防対策の実施及び保護者との情報共有					研修計画	○定期的な園内研修（園内研究・食育・和太鼓・リズム・体育など） ○各種園外研修への計画的参加（保育方法・給食・アレルギー・障害児保育・家庭支援・行政等）		
安全対策・事故防止		○毎月の避難訓練（火災・地震・不審者対応） ○消防点検 ○交通安全指導 ○救命講習会（AEDを含む）					職員保育委員	○保育計画 ○安全・防災・保健・衛生 ○動植物・食育・自然環境 ○室内遊具・教具環境 ○特別室・戸外環境 ○行事・活動備品環境の各環境委員会を設置し、現状把握・分析・整備を行い、保育環境の向上を図る		
学校との連携		○小学校との情報交換会 ○幼年期教育委員会 ○認定こども園保育要録を小学校へ送付 ○小学校見学・体験 ○園行事への参加呼びかけ ○中学生の保育体験授業及び職場体験 ○保育者・看護師・心理士養成校の保育実習等					自己評価	○毎週・毎月ごとに保育を振り返り、改善していく ○職員間評価によるヒアリング ○職員による保育環境研究委員会での評価		